

第8回 在宅療養を支えるスタッフのための多職種連携研修会 -医療と介護の連携・協働を目指して- 開催要領（案）

1 目的

在宅医療・介護の現場では、専門職ごとに視点や役割が異なることから、意見や認識のずれが生じる場面も少なくない。特に病院から在宅への退院支援においては、退院後の生活を見据えた情報共有不足や、病院・在宅双方の業務の制約に対する理解不足から、連携上の課題が顕在化しやすい状況にある。

本研修会では、病院と在宅の多職種が退院支援における困りごとや課題を共有し、それぞれの視点や支援の工夫を持ち寄りながら、「困った」「できない」から「これならいける」へ発想を広げるとともに、相互理解を深め、退院支援の可能性や実践的な連携強化を図る。

2 目標

- (1) 退院支援において、他職種が重視する視点や業務課題を共有し、互いの専門性に対する理解と敬意を深めることができる。
- (2) 他職種の視点や支援方法に触れることで、ケースを多角的に捉え、退院支援における連携の工夫や支援の可能性を見出だすことができる。
- (3) 職種の垣根を超えたフラットな対話を通して、気軽に相談・連絡ができる関係性を築くことができる。

3 テーマ

多職種寄れば文殊の知恵～退院支援の「困った・できない」を「いける！」に変える会～

4 日時

令和8年11月19日（木） 14：00～16：00（13：30受付）

5 方法

参集型

6 開催場所

呉市役所 201・202・203 会議室

7 対象

地域医療連携室職員、地域包括ケア病棟退院支援担当者、居宅介護支援事業所ケアマネジャー、地域包括支援センター職員、訪問看護事業所職員、訪問介護事業所職員、テーマに関心のある方

8 定員

60名程度（※申込多数の場合、単一施設からの複数人の申込を制限する）

9 申込方法

WEB（Google フォーム）にて申し込み

10 内容・タイムテーブル

時間		内容	進行・内容
14:00-14:05	5	開会・挨拶	開会挨拶・開催趣旨
14:05-14:25	20	趣旨説明 オリエンテーション アイスブレイク	研修目標の共有 本日の流れ・GWの進め方・グラウンドルールの説明 自己紹介（氏名・所属・職種） 「共通点を見つけよう！」
14:25-14:45	20	ワーク① 「現場のリアルを共有」	〈個人ワーク〉5分 退院支援で感じる「困りごと」「モヤモヤ」を付箋に記入 〈グループワーク〉15分 付箋を貼りながら共有し、似た内容を整理
14:45-15:05	20	ワーク② 「なぜそうなる？」 (背景・相互理解)	なぜそうなる？を共有 〈個人ワーク〉1～2分 困りごとが生じる背景を考える 〈グループワーク〉18分 病院・地域それぞれの立場や業務背景、制度上の課題などを共有し、相互理解を深める
15:05-15:10	5	事例提示	「退院支援の困った事例」説明 ※事例は事前に提示する
15:10-15:30	20	ワーク③ 「支援や連携の工夫を考える」	〈グループワーク〉 ワーク①②の内容をふまえて、事例に対して必要な支援・条件・連携の工夫を検討 「これならいける！」を見出だす
15:30-15:50	20	全体共有	各グループ発表 「印象に残ったこと」「これならいけると思えた支援・連携」を中心に共有
15:50-16:00	10	まとめ・閉会	統括・アンケート記入

※グループ編成

病院・在宅それぞれの立場や視点を共有し、相互理解を深められるよう、多職種混合によるグループ編成とする。また、特定の職種や経験者に発言が偏らないよう、経験年数も考慮しながら1グループ5名程度とする。

11 評価方法

- (1) 研修終了後に参加者へアンケートを行い、目標への達成度及び研修会の効果や満足度を確認する
- (2) 6カ月後に再度参加者へアンケートを行い、実践の状況及び成果について追跡調査を行う。

12 周知方法

- (1) しとってクレへ掲載
- (2) 医療機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所へチラシ配布